

定 例 公 安 委 員 会

日 時：令和3年1月7日 9時00分～11時50分

出席委員：岩瀬委員長・那須委員・柘植委員・小笠原委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	初詣に伴う雑踏警備の実施結果	地域部	本 部 長 総 務 部 長
2 報告	主要事件の検挙（4件）	刑事部	生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長
3	交通事故発生状況（令和2年中）	交通部	交 通 部 長 警 備 部 長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（25件）	総務部	公安委員会執務官
2 報告	審査請求に対する国家公安委員会の裁決	警務部	住民サービス課長
3 決裁	苦情の調査結果		
4 決定	運転免許取消処分に対する執行停止の申立て		訟 務 官
5 決裁	行政事件の発生及び応訴（2件）		
6 決定	聴聞等の実施結果・決定 2件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 地域部

初詣に伴う雑踏警備の実施結果

地域部長から、初詣に伴う雑踏警備の実施結果について、

「令和2年12月31日（木）から令和3年1月3日（日）までの4日間、熱田神宮等の神社等において雑踏警備を実施した結果、雑踏事故の発生はなかった」

旨の報告があった。

(2) 刑事部

主要事件の検挙（4件）

刑事部長から、

- 半田市一本木町地内における放火・殺人事件の検挙概要
- 国立大学法人三重大学医学部附属病院臨床麻酔部元部長らによる医療機器選定を巡る贈収賄事件の検挙概要
- 持続化給付金に絡む詐欺事件2件の検挙概要
- 名古屋市及びその周辺部における連続ひったくり事件の検挙概要

について報告があった。

委員から、半田市一本木町地内における放火・殺人事件の検挙について、

「困難な捜査を粘り強く継続した結果であり、大変素晴らしい検挙である」

旨の発言があった。

(3) 交通部

交通事故発生状況（令和2年中）

交通部長から、令和2年中の交通事故発生状況について、

「交通事故死者数は、令和2年中154人で前年に比べ2人減少し、昨年に続きワースト1位から脱却した。

令和2年中の交通死亡事故の主な特徴としては、

高齢者が多発（増減なし）

歩行者が増加

自転車が増加

交差点内・交差点付近が増加

○ 夕方・夜間（午後4時～午前4時）が増加

○ 朝・昼間（午前4時～午後4時）が減少

である。

1月中の主な取組は、

高齢歩行者の交通事故抑止対策の強化

飲酒運転取締りの強化

白バイの集中運用

である」

旨の報告があった。

委員から、

「155人を下回り、2年連続で全国ワーストを回避できたことは、大変意義があり、次の目標に向けてのモチベーションにもなる」

旨の発言があった。

さらに委員から、

「全国順位もさることながら、不幸な交通事故死者の絶対数を一人でも減らすことが、真に安全・安心な愛知につながる。他府県の効果的な取組も参考にしながら、交通事故抑止対策の実効性を一層高めてほしい」

旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（25件）

公安委員会執務官から、

1月4日までに届いた公安委員会宛の文書等25件について報告があり、公安委員会は「交通取締りに関する申出」及び「警察官の言動に関する申出」を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 審査請求に対する国家公安委員会の裁決

住民サービス課長から、
犯罪被害者等給付金支給裁定に係る審査請求に対する国家公安委員会の裁決
について報告があった。

(3) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「警察官の言動に関する苦情」について、調査結果の報告並びに申出者に対する通知文案の提示及び説明
があり、再検討を指示した。

(4) 運転免許取消処分に対する執行停止の申立て

訟務官から、
運転免許取消処分に対する執行停止の申立てについて、申立者に対する決定書案の提示及び説明
があり、原案どおり決定した。

(5) 行政事件の発生及び応訴（2件）

訟務官から、
「運転免許取消処分取消請求事件及び執行停止申立事件」及び「運転免許取消処分取消請求事件」の概要並びに今後の応訴方針
について説明があり、決裁した。

(6) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
風俗営業等の営業停止処分等に関する聴聞結果 2件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：令和3年1月14日 9時00分～12時15分

出席委員：岩瀬委員長・那須委員・柘植委員・下村委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	令和2年中の110番受理状況	地域部	本 部 長 総 務 部 長
2	刑法犯の認知・検挙状況（令和2年中）	刑事部	生活安全部長
3 報告	愛知県における来日外国人の検挙状況（令和2年中）		地 域 部 長 刑 事 部 長
4	主要事件の検挙（2件）		交 通 部 長
5	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（令和2年12月中及び令和2年中）	警備部	警 備 部 長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（3件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	苦情の調査結果	警務部	住民サービス課長
3 報告	犯罪被害者等の支援に特化した条例の現状		首 席 監 察 官
4 報告	監察案件		
5 報告	交通事故統計外の事故（令和2年第4四半期）	交通部	交通総務課長
6 決定	聴聞等の実施結果・決定 87件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 地域部

令和2年中の110番受理状況

地域部長から、令和2年中の110番受理状況について、

「令和2年中の110番受理件数は前年より81,243件減少の561,669件で、一日平均は1,535件の受理であった。

その内、緊急性のない通報である『問合せ等』の通報が145,423件で、前年より25,147件減少した。これら受理件数の減少は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況の影響を大きく受けていると推察される。

また、全国警察における当県の受理件数は、全国で4番目に多い数字である」

旨の報告があった。

(2) 刑事部

ア 刑法犯の認知・検挙状況（令和2年中）

刑事部長から、令和2年中の刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前年との比較）について、

「 刑法犯の認知件数は39,900件で、10,056件減少した
刑法犯の検挙件数は15,670件で、1,725件減少した
刑法犯の検挙率は39.3パーセントで、4.5ポイント上昇した
刑法犯の検挙人員は12,270人で、965人減少した
重要窃盗犯の認知件数は3,235件で、1,650件減少した
重要窃盗犯の検挙件数は1,350件で、1,091件減少した
重要窃盗犯の検挙率は41.7パーセントで、8.2ポイント下降した
重要窃盗犯の検挙人員は440人で、54人減少した

手口別では、侵入盗の認知件数は全国ワースト4位、住宅侵入盗は全国ワースト6位、自動車盗はワースト4位であった」

旨の報告があった。

委員から、

「昨年、犯罪の検挙と抑止の両面で成果が上がったと思う。特殊詐欺が上半期に多発し、下半期に減少に転じたのは『スグ出る作戦』等の検挙対策とキャッチフレーズを活用した啓発等の防犯対策が的を射ており、双方が上手く機能した結果である」

旨の発言があった。

イ 愛知県における来日外国人の検挙状況（令和2年中）

刑事部長から、令和2年中の愛知県における来日外国人の検挙状況について、

- 来日外国人の検挙人員は1,238人で前年比96人減少した
- 国籍別では、ほとんどの国籍で減少する中、ベトナム人は増加した
- 在留資格別では、「技能実習」と「留学」資格が増加した
- 罪種別では、不法残留等の入管法違反や窃盗犯が減少したが凶悪犯が倍増した」

旨の報告があった。

ウ 主要事件の検挙（2件）

刑事部長から、

- 三管区にわたる強盗致傷事件被疑者の検挙概要
- 狙い撃ち犯罪組織「情報屋」グループ上位者の検挙概要

について報告があった。

(3) 警備部

行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（令和2年12月中及び令和2年中）

警備部長から、令和2年12月中及び令和2年中の行進又は集団示威運動に

関する条例の許可申請及び許可について、

「令和2年12月中、4件の許可申請を受理して、全て許可した。

また、令和2年1年間では、60件の許可申請があり、全て許可した」旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、

1月8日までに届いた公安委員会宛の文書等3件について報告があり、公安委員会は「交通取締り時の対応に関する申出」を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、

公安委員会宛の「警察官の言動に関する苦情」について、調査結果の報告並びに申出者に対する通知文案の提示及び説明があり、原案どおり決裁した。

(3) 犯罪被害者等の支援に特化した条例の現状

住民サービス課長から、全国の犯罪被害者等の支援に特化した条例の現状等についての説明があり、

「今後、当県は県・県民等の責務や基本的施策を定める条例を制定し、経済的な支援等を推進していく方針である」旨の報告があった。

(4) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(5) 交通事故統計外の事故（令和2年第4四半期）

交通総務課長から、
令和2年第4四半期における交通事故統計外の事故
について報告があった。

(6) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

- 運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 84件
- 風俗営業等の営業停止処分等に関する聴聞結果 2件
- 客待ち行為等の再発防止命令に関する聴聞結果 1件

について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：令和3年1月21日 8時45分～12時00分

出席委員：岩瀬委員長・那須委員・小笠原委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	HAL名古屋との共同プロジェクトによる痴漢・盗撮撲滅に向けた広報ポスターの制作	地域部	本 部 長 総 務 部 長 地 域 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長
2	主要事件の検挙	交通部	
3	新型コロナウイルス感染症への対応状況等	警備部	
4	2月の行事予定[書面報告]	警務部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（3件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 警察署協議会委員の辞職及び委嘱		
3	決裁 激励の上申		
4	報告 運転免許試験場駐車場の有料化について (行政財産の特別使用に係る使用料条例の一部改正)		施 設 課 長 運 転 免 許 課 長
5	決裁 苦情の調査結果	警務部	住 民 サ ー ビ ス 課 長
6	報告 監察案件		首 席 監 察 官
7	裁決 自己情報一部開示決定に対する審査請求（3件）		訟 務 官
8	裁決 運転免許取消処分に対する審査請求（2件）		
9	裁決 裁決に対する審査請求		
10	決裁 行政訴訟の控訴の発生と応訴		
11	報告 ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施	生 活 安 全 部	人 身 安 全 対 策 課 長
12	決裁 愛知県暴力団排除条例の一部改正	刑 事 部	組 織 犯 罪 対 策 課 長
13	報告 許可証等の郵送交付の実施～新型コロナウイルス感染症対策～	交 通 部	交 通 規 制 課 長
14	報告 警察職員の援助派遣の中止	警 備 部	警 備 課 長
15	決定 聴聞等の実施結果・決定 81件	総 務 部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 地域部

H A L 名古屋との共同プロジェクトによる痴漢・盗撮撲滅に向けた広報ポスターの制作

地域部長から、

「昨年の鉄道及び鉄道施設における痴漢・盗撮等の相談件数は、コロナ禍の影響により258件（前年対比 - 71件）と減少したが、7月以降は上昇傾向にあり、いまだ相談が後を立たない。こうした中、社会全体でこの種犯罪の抑止と検挙を図る気運を醸成するため、新たにH A L 名古屋と共同し、広報ポスターを制作した」

旨の報告があった。

委員から、

「専門学校生が作成したポスターは、それぞれ特徴があり、よく考えられている。ポスターにある『ふれあいコール』は、24時間いつでも女性警察官が対応しており、女性にとって心強い相談窓口だと思う」

旨の発言があった。

(2) 交通部

主要事件の検挙

交通部長から、

西知多産業道路における六代目山口組傘下組織組員による道路交通法違反（妨害運転）事件の検挙概要について報告があった。

委員から、

「極めて悪質な違反であり、厳罰に値する。今後も摘発を強化してほしい」

旨の発言があった。

(3) 警備部

新型コロナウイルス感染症への対応状況等

警備部長から、新型コロナウイルス感染症への対応状況等について

- 県警の対応
- 愛知県の状況

等の報告があった。

(4) 警務部

2月の行事予定

警務部から、

2月の行事予定

について書面報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、

1月15日までに届いた公安委員会宛の文書等3件

について報告があり、公安委員会は「警察官の言動に関する申出」を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱

公安委員会執務官から、

警察署協議会委員の辞職及び委嘱
について報告があり、1人の辞職及び後任者の委嘱について決裁した。

(3) 激励の上申

公安委員会執務官から、
地域部（先制的な新型コロナウイルス感染症防止対策及び治安情勢の変化を見据えた地域警察強化方策の推進）
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(4) 運転免許試験場駐車場の有料化について（行政財産の特別使用に係る使用料条例の一部改正）

施設課長から、
「現在、整備を進めている運転免許試験場の駐車場については、周辺の住環境の保護及び交通事故防止の観点から、来場者の公共交通機関の利用を促進することにより、自動車の総量抑制を図ることを目的に有料化をすることとしている。
本年5月に駐車場が供用開始となることから、駐車場利用者から使用料を徴収するため、「行政財産の特別使用に係る使用料条例」の一部を改正し、駐車場使用料を新設するための議案が愛知県総務局により2月県議会に上程される」
旨の報告があった。

(5) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「警察官の言動に関する苦情」について、調査結果の報告並びに申出者に対する通知文案の提示及び説明
があり、原案どおり決裁した。

(6) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(7) 自己情報一部開示決定に対する審査請求（3件）

訟務官から、自己情報一部開示決定に対する審査請求3件について、
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明
があり、いずれも原案どおり裁決した。

(8) 運転免許取消処分に対する審査請求（2件）

訟務官から、運転免許取消処分に対する審査請求2件について、
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明
があり、いずれも原案どおり裁決した。

(9) 裁決に対する審査請求

訟務官から、裁決に対する審査請求について、
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明
があり、原案どおり裁決した。

(10) 行政訴訟の控訴の発生と応訴

訟務官から、
放置違反金等差押取消請求控訴事件の概要及び今後の応訴方針
について説明があり、決裁した。

(11) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施

人身安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施について、

「令和2年12月中は、面会等要求等を理由に5件の禁止命令と1件の禁止命令の延長を実施した。

また、押し掛け、面会等要求、粗野又は乱暴な言動等を理由に32件の警告を実施した」
旨の報告があった。

(12) 愛知県暴力団排除条例の一部改正

組織犯罪対策課長から、

「食品衛生法が一部改正されることに伴い、食品衛生法の規定を引用している愛知県暴力団排除条例の一部を改正する」

旨の説明があり、決裁した。

(13) 許可証等の郵送交付の実施～新型コロナウイルス感染症対策～

交通規制課長から、

「道路使用許可や駐車許可などの許認可事務は、すでにオンライン申請が可能となっている自動車保管場所証明申請を除き、警察署の窓口で申請を受け付け、後日、改めて警察署窓口において許可証等を交付しているが、新型コロナウイルス感染症対策として、一部の許認可事務の許可証等交付事務については、郵送を希望する申請者の求めにより、郵送（レターパックプラス）で行うこととした」

旨の報告があった。

(14) 警察職員の援助派遣の中止

警備課長から、

「昨年12月8日付けで福島県公安委員会から本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項の規定に基づく援助要求がなされていたところ、本年1月18日付けで福島県公安委員会から援助要求の取下げがあったことから、

派遣を中止する」
旨の報告があった。

(15) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

- 運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 79件
 - 風俗営業等の営業停止処分等に関する聴聞結果 2件
- について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：令和3年1月28日 8時45分～12時05分

出席委員：岩瀬委員長・柘植委員・下村委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	サイバー犯罪被害防止動画の配信	生活安全部	本 部 長 総 務 部 長 生活安全部長
2	YouTubeライブ配信によるサイバーセキュリティセミナーの開催		
3	主要事件の検挙（2件）	刑事部	刑 事 部 長
4	「ダイヤモンド（横断歩道あり）」の周知を図る広報チラシの製作	交通部	交 通 部 長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（3件）	総務部	公安委員会執務官
2 決定	自己情報開示請求に係る決定		
3 決裁	激励の上申（2件）		
4 報告	令和2年度第3四半期（10～12月）監察実施結果	警務部	首席監察官
5 決裁	行政事件の発生及び応訴		訟 務 官
6 決裁	古物営業法に係る処分基準の改定	生活安全部	保 安 課 長
7 報告	令和3年上半期交通事故抑止対策	交通部	交通部参事官
8 決定	聴聞等の実施結果・決定 72件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 生活安全部

ア サイバー犯罪被害防止動画の配信

生活安全部長から、

「近年、インターネットが生活に欠かせないツールとなり、サイバー犯罪の被害に遭わないための防犯意識及び知識が世代を問わず必要とされ、視覚的・直感的にわかりやすい広報啓発活動が求められる。

この度、愛知県インターネット・サービス・プロバイダ防犯連絡会の協力を得て、短時間でSNSでも配信可能な啓発動画を制作したので、ケーブルテレビ会社を始めとする各メディア、SNS等で配信していく」

旨の報告があった。

イ YouTubeライブ配信によるサイバーセキュリティセミナーの開催

生活安全部長から、

「サイバー犯罪の被害を未然に防止するためには、比較的セキュリティ対策が不十分となりやすい中小事業者を含む多くの事業者に、セキュリティ対策の重要性を知ってもらう必要があるため、2月12日（金）、ウィンクあいちにおいて、中小事業者を主たる対象としたサイバーセキュリティに関するセミナーを開催することとし、本年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、オンライン形式で実施する」

旨の報告があった。

委員から、

「愛知県警では、YouTube動画を多く作成し配信しているが、あまり県民の目に触れていないように思う。せっかく良い動画を配信しても、県民が視聴しなければ効果がないため、『どうしたら見てもらえるか』という観点で色々な工夫を凝らしてほしい」

旨の発言があった。

(2) 刑事部

主要事件の検挙（2件）

刑事部長から、

- 盗難車両を使用して侵入盗を繰り返す広域組織窃盗グループの検挙概要
- 複数の賃貸マンションを利用した大麻営利目的栽培事件の検挙概要について報告があった。

(3) 交通部

「ダイヤモンド（横断歩道あり）」の周知を図る広報チラシの製作

交通部長から、

「県内における過去5年間の交通事故死者数の減少数に比較し、横断歩道を横断中の事故死者の全体に占める構成率はほぼ横ばいであり、いまだ横断歩行者等妨害等違反も多くみられることから、『ダイヤモンド』の示す意味と歩行者保護を呼び掛ける広報チラシを製作し、県民の横断歩道における歩行者保護意識の醸成を図る」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、

1月22日までに届いた公安委員会宛の文書等3件について報告があり、公安委員会は「警察官の言動に関する申出」2件を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 自己情報開示請求に係る決定

公安委員会執務官から、
公安委員会宛の自己情報開示請求に係る決定案
について説明があり、原案どおり決定した。

(3) 激励の上申

公安委員会執務官から、
○ 新型コロナ関連、持続化給付金不正受給詐欺事件合同捜査本部
○ 三重大学医学部附属病院臨床麻酔部教授らによる医療機器発注を巡る贈収賄事件合同捜査本部
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(4) 令和2年度第3四半期(10~12月)監察実施結果

首席監察官から、
令和2年度第3四半期における監察の実施結果
について報告があった。

(5) 行政事件の発生及び応訴

訟務官から、
運転免許更新処分取消等請求事件の概要及び今後の応訴方針
について説明があり、決裁した。

(6) 古物営業法に係る処分基準の改定

保安課長から、
「古物営業法の一部を改正する法律の施行に伴い、警察庁から『古物営

業法等に係るモデル処分基準の改定について』が発出され、処分基準のモデルが示達されたため、当県の処分基準を改定する」旨の説明があり、決裁した。

(7) 令和3年上半期交通事故抑止対策

交通部参事官から、
令和3年上半期における交通事故防止対策
について報告があった。

(8) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
○ 運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 70件
○ 風俗営業等の営業停止処分等に関する聴聞結果 2件
について報告があり、行政処分を決定した。